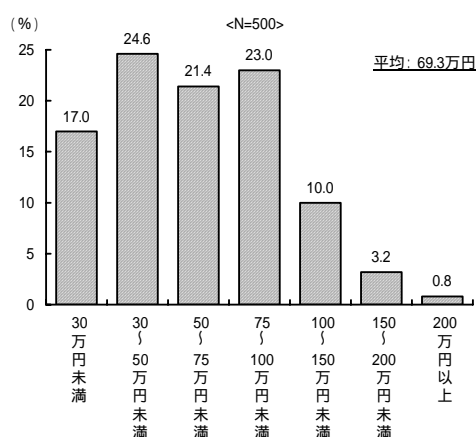


## 2006年冬のボーナス

“増えた”が4割(40.8%)、「±0円(昨年と同額)」が3割強(34.0%)、“減った”は約2割(21.6%)。「30～50万円未満」(24.6%)が最も多く、次いで「75～100万円未満」(23.0%)、「50～75万円未満」(21.4%)の順。平均手取り金額は69.3万円。

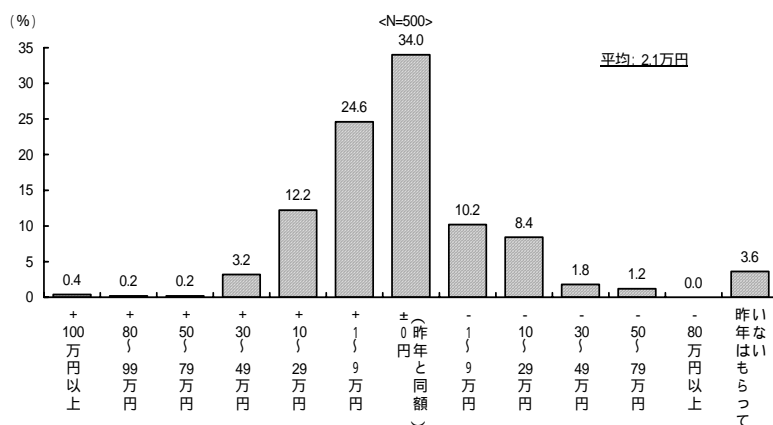
景気回復が進む中、夫が受け取った冬のボーナスの手取り額を伺いました。最も多いのは、「30～50万円未満」(24.6%)で、次いで「75～100万円未満」(23.0%)、「50～75万円未満」(21.4%)の順となっており、「30～100万円未満」が69.0%と全回答者の約7割を占めています。平均金額は69.3万円となっています。

### ボーナスの手取金額



また、今年の冬のボーナス手取金額は、昨年と比較した増減を伺いました。“増えた”(40.8%)が4割を占め、「±0円(昨年と同額)」(34.0%)が3割強となっています。一方、約2割(21.6%)“減った”という方も見られます。また、“増えた”人では「+1～9万円」(24.6%)が最も多くなっています。全体では、平均+2.1万円という結果となっています。「いざなぎ超え」が続く中、「実感なき景気回復」も続いているようです。

### 昨年と比較したボーナス手取金額の増減幅



## 臨時ボーナスをあげたいと思う人

この冬、臨時ボーナスをあげたい人は、全体で「新庄剛志」(49件)、女性では「荒川静香」(43件)がトップ。同じくフィギュアスケートで活躍した「浅田真央」(11件)も5位にランク。個人的な関係では「自分」(21件)、「夫」(18件)を上位にあげている。

今年、大いに活躍した人やグループで、臨時ボーナスをあげたいと思う人を自由にあげてもらいました。

総合順位では「新庄剛志」(49件)が、女性では「荒川静香」(43件)がトップとなっています。また、「自分」(21件)や「夫」(18件)、「母」(9件)など、身近な人をあげる方も目立ちました。

2006年冬			2005年冬		
順位	人名・グループ名	件数	順位	人名・グループ名	件数
1	新庄剛志(野球)	49	1	レーザーラモンHG(お笑い)	50
2	荒川静香(フィギュアスケート)	43	2	自分	24
3	自分	21	3	夫	22
4	夫	18	4	宮里藍(ゴルフ)	18
5	KAT-TUN(歌手)	11	5	高橋尚子(マラソン)	15
	浅田真央(フィギュアスケート)		7	小泉純一郎(首相)	
7	SMAP(歌手)	9	8	SMAP(歌手)	14
	母		9	母	10
	ハンカチ王子・斉藤祐樹(高校野球)		10	堀江貴文(実業家)	8
10	イチロー(野球)	8	10	松井秀喜(野球)	7
			杉村太蔵(国会議員)		
				千葉ロッテの選手	

なお、2006年に盛り上がりを見せた数々のスポーツイベントの影響からか上位10人(グループ)はスポーツ部門の人が半数を占め、中でも男性は野球、女性はフィギュアスケート界からのランクインでした。

また、エンターテインメント界からは、「KAT-TUN」(11件)と「SMAP」(9件)の若手男性2グループがトップ10入りしています。

## 主婦としての働きに自分がもらうボーナス額

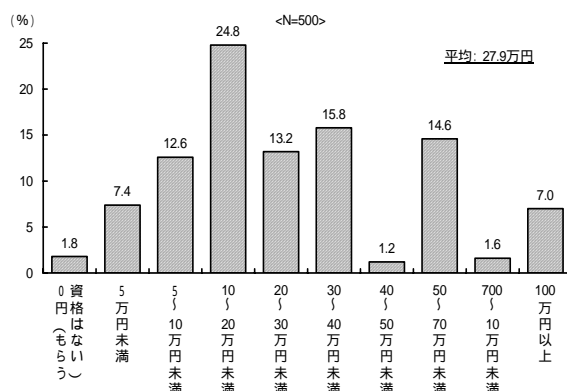
自分の働きぶりに対するボーナス額は、「10～20万円未満」(24.8%)が最も多く、平均27.9万円。現金以外で自分がボーナスをもらうとしたら、「旅行」(131件)が圧倒的多数でトップ。以下、「休暇」(37件)、「洋服」(36件)、「アクセサリー」(35件)なども上位に。

自分自身の主婦としての働きに対してボーナスをもらうとしたら、その金額はいくらぐらいが適当だと思うか、具体的な金額を答えてもらいました。

最も多いのは「10～20万円未満」(24.8%)で、以下「30～40万円未満」(15.8%)、「50～70万円未満」(14.6%)、「20～30万円未満」(13.2%)と続いています。

また、「100万円以上」も7.0%ありますが、その一方で「0円～5万円未満」も9.2%あり、主婦としての仕事ぶりに対するボーナス評価は千差万別のようです。

### 主婦としての働きに自分がもらうボーナス額



一方で、現金や金券以外のものでも自分がボーナスをもらうとしたら、どのようなものが欲しいかを聞いてみました。

最も多いのは「旅行」(131件)で、2位以下を大きく上回っています。以下、「休暇」(37件)や「洋服」(36件)、「アクセサリー」(35件)などの服飾品、「車」(33件)、「家電製品」(31件)があがっています。家電製品の中には、話題の「大型テレビ」が17件含まれています。

多くの主婦の方々は、旅行や休暇など日常から解放された時間を求めているのでしょう。

### ボーナスとしてもらいたいもの

順位	ボーナスとしてもらいたいもの	件数
1	旅行(海外旅行38件、温泉旅行17件など)	131
2	休暇(長期休暇、自由な時間、家事からの解放)	37
3	洋服(コート、着物)	36
4	アクセサリー(ジュエリー、指輪)	35
5	車	33
6	家電製品	31
7	ブランドバッグ	18
8	食品(米、高級食材、ワインなど)	18
9	大型テレビ(プラズマ、液晶、地デジ対応薄型)	17
10	パソコン	10
11	外食(豪華なディナー、スイーツ食べ放題)	9
12	マイホームやマンション	9
13	エステ	7
14	任天堂のゲーム機(Nintendo Wii、Nintendo DS)	6
15	ブランド品	5

## ボーナスの中から夫に渡した小遣い

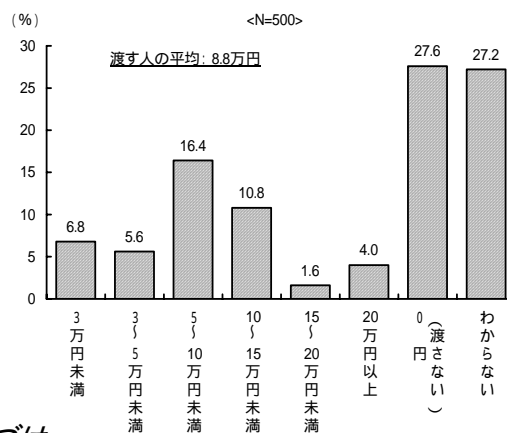
「渡さない」が約3割(27.6%)。「渡した(渡す予定)」割合は45.2%。  
渡した小遣いは「5～10万円未満」(16.4%)が最も多く、平均は8.8万円。

この冬のボーナスの中から、ご主人に渡した(渡そうと持っている)小遣いについて聞いてみました。

最も多いのは「渡さない」(27.6%)という厳しい回答でした。また、「わからない」(27.2%)、も多く、「渡した(渡す予定)」割合は45.2%にとどまりました。

“渡した(渡す予定)”と回答した主婦がご主人に渡した金額を見ると、最も多いのが「5～10万円未満」(16.4%)で、以下「10～15万円未満」(10.8%)、「3万円未満」(6.8%)となっています。

小遣いを渡す人の平均金額は8.8万円でした。



ボーナス内から夫に渡した小遣い額

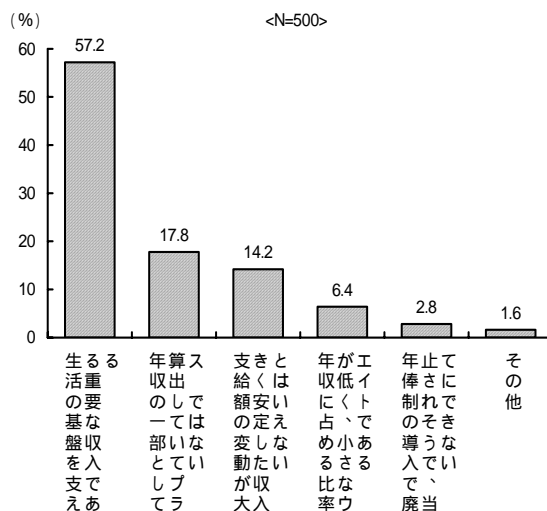
## ボーナスの家計での位置づけ

「生活の基盤を支える重要な収入」(57.2%)が6割弱を占める。

近年年俸制の導入などにより、ボーナスの意味や家計の中での位置づけが大きく変化しつつあります。そこで、ボーナスを家計の中でどのように位置づけているのか聞いてみました。

ボーナスは、「生活の基盤を支える重要な収入である」(57.2%)が6割弱を占めており、最も多くなっています。一方、「ボーナスは年収の一部として算出されており、プラスの収入ではない」(17.8%)、「支給額の変動が大きく、安定した収入とは言えない」(14.2%)が1割強、「年収に占める比率が低く、収入として小さなウエイトです。」(6.4%)、「年俸制の導入で廃止されそうで当てにできない」(2.8%)が1割弱となっており、これらをあわせると“重要な収入として当てにできない”(41.2%)が4割となっています。

家計におけるボーナスのあり方も二極化の様相を呈しているようです。



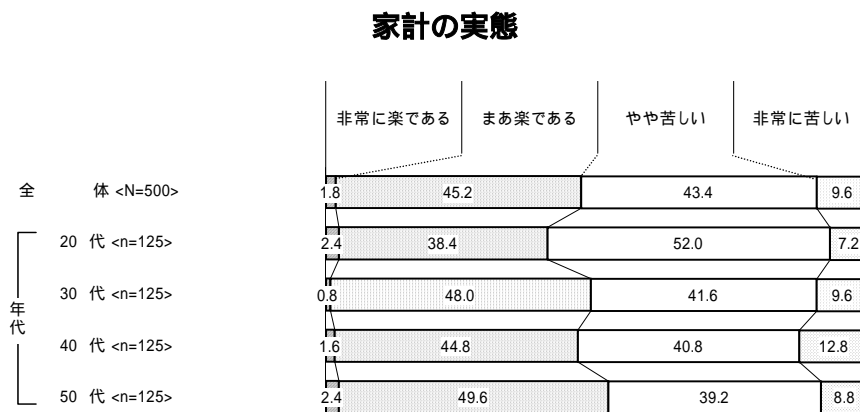
家計におけるボーナスの位置づけ

## 家計の実態

家計は、「やや苦しい」(43.4%)、「非常に苦しい」(9.6%)と依然として“苦しい”(53.0%)が半数を超え、「まあ楽である」(45.2%)と「非常に楽である」(1.8%)の“楽である”(47.0%)を上回る。また、家計の支出や資産運用の見直し必要性は、約9割近くが“感じる”(89.0%)と回答。

家計をやりくりしている主婦は、現在の家計を苦しいと感じているのでしょうか。サラリーマン世帯の家計の現状について聞きました。

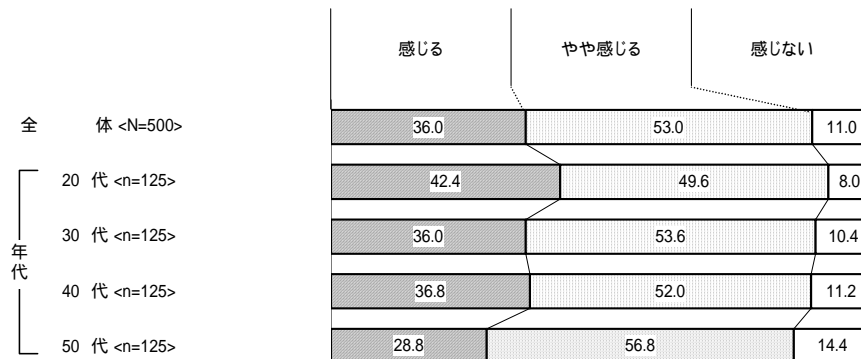
「やや苦しい」(43.4%)、「非常に苦しい」(9.6%)をあわせると半数強が“苦しい”(53.0%)と答えています。一方、「まあ楽である」(45.2%)も4割を超えているものの、「非常に楽である」(1.8%)はごくわずかで、両者をあわせた“楽である”(47.0%)は半数弱となっています。



一方で、家計の中で支出や資産運用などの見直しが必要だと主婦が感じているかどうかを聞きました。

「感じる」(36.0%)が3割を超え、「やや感じる」(53.0%)も半数を超えており、大多数が家計に対して何らかの見直しや運用が必要だと感じているようです。

## 家計の支出や資産運用の見直しの必要性



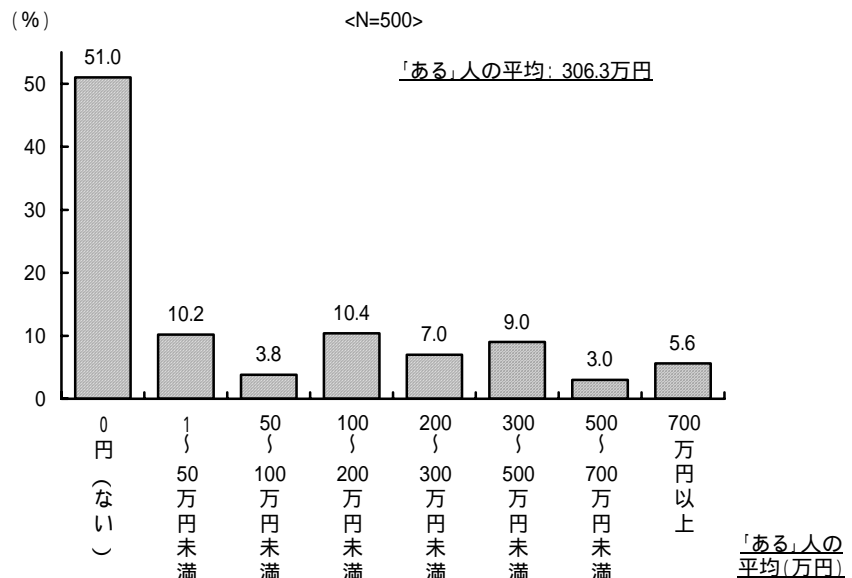
## 夫に内緒の資産(へそくり)の有無と資産額

夫に内緒にしている資産は「ある」(49.0%)と「ない」(51.0%)が半々。  
 内緒にしている資産の額は、「100～200万円未満」(10.4%)、「50万円未満」(各10.2%)などで、平均金額は306.3万円。  
 平均金額は《20代》184.4万円、《30代》173.2万円、《40代》425.2万円、《50代》444.6万円、40代以上の主婦は400万円を超える。

サラリーマン世帯の主婦は、夫に内緒にしている資産(へそくり、結婚前に貯めていたお金、結婚するときに親からもらってきたお金、結婚後働いて貯めたお金など)をどれくらいの割合で持っているのか聞きました。

「ある」(49.0%)と「ない」(51.0%)がほぼ半々であり、夫に内緒にしている資産を2人に1人の主婦が持っています。年代別に見ると、「ある」は(30代)(52.8%)が最も多く、以下、(50代)(50.4%)、(40代)(47.2%)、(20代)(45.6%)となっています。

### 夫に内緒の資産の有無と資産額



年代	20代 <n=125>	30代 <n=125>	40代 <n=125>	50代 <n=125>	平均(万円)
「ない」	54.4	47.2	52.8	49.6	
「ある」	12.8	15.2	5.6	7.2	
100～200万円未満	6.4	4.8	0.8	3.2	
100～200万円未満	10.4	10.4	12.0	8.8	
200～300万円未満	6.4	8.8	8.8	4.0	
300～500万円未満	6.4	10.4	7.2	12.0	
500～700万円未満	1.6	1.6	5.6	3.2	
700万円以上	1.6	1.6	7.2	12.0	
平均	184.4	173.2	425.2	444.6	

では、実際に夫に内緒でいくらかの資産を持っているのでしょうか。

内緒にしている資産の額は「100～200万円未満」(10.4%)、「50万円未満」(10.2%)がほぼ1割ずつとなっています。以下、「300～500万円未満」(9.0%)、「200～300万円未満」(7.0%)などとなっています。

持っているという人だけの平均金額は306.3万円で、最高額は3,500万円となっています。

一般家庭の景気回復に足踏み状態が続いているためか、夫に内緒の資産(へそくり)も「いざというときの備え」としての資産形成と考えているようです。

## 夫に内緒の資産(へそくり)の目的と目標金額

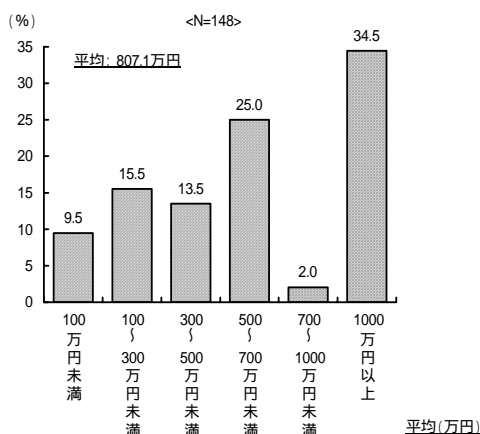
『いざという時の備え』が圧倒的。次いで、『自分のために使う』があがっている。「持っている安心」(31件)という感覚的な回答も。  
 目標金額は、「1,000万円以上」(34.5%)が最も多く、「500～700万円未満」(25.0%)が続く。  
 平均金額は807.1万円。(50代)は最も高額で1,285.2万円。

では、どのような目的で夫に内緒の資産を持っているのでしょうか。資産を持っていると答えた主婦に、資産を持っている最も大きな目的や理由、使い道などについて聞きました。  
 最も多いのは、『いざという時の備え』(118件)。その中には、「離婚した時の備え」(9件)という回答もありました。また、「持っている安心」(31件)といった内容も多く、特に使い道は決まっていな  
 いが安心感から、との気持ちが窺えます。一方、『自分のために使う』(47件)という内容も多数を占  
 めました。「自分の小遣いとして」(28件)が最も多く、やはり夫に気兼ねなく自由に使えるお金を持  
 ちたい方も多いようです。  
 『家計・家族のために使う』(23件)の内容としては、「マイホームの購入資金」(9件)が最も多く、家  
 族や夫婦で楽しむためにとの回答も少数ながら見られます。  
 なお、「子供のため」(16件)も全体では5番目に多く、中でも「子供の教育資金」(12件)が目立っ  
 ています。

内容	件数	内容	件数
いざという時の備え	118	特に目的はない	32
いざという時の備え	56	持っている安心	31
老後の備え	35	単なる預金	1
病気や事故の備え	9	家計・家族のために使う	23
離婚した時の備え	9	マイホームの購入資金	9
自分の老後の備え	6	車の購入資金	5
夫とけんかしたときの家出用	2	出産費用	2
夫がリストラにあった時のため	1	自動車保険	1
自分のために使う	47	家族のレジャーのため	1
自分の小遣いとして	28	外食	1
旅行	4	記念旅行	1
自分の趣味	4	夫婦での旅行	1
友人との旅行	3	ペットに使う	1
海外旅行	2	将来できると思う孫のため	1
株式投資	2	子供のために使う	16
資産運用	2	子供の教育資金	12
英会話の学費のため	1	子供の結婚費用	2
将来の夢のため	1	子供の節目の備え	2

夫に内緒の資産をもっている目的

次に、夫に内緒の資産はとりあえずいくらあればよいのか、その目標金額を聞きました。  
 「1,000万円以上」(34.5%)が最も多く、以下「500～700万円未満」(25.0%)、「100～300万円未満」  
 (15.5%)などが続いています。  
 平均金額は807.1万円。現在、夫に内緒の資産を持っている人の平均は、306.3万円ですから、ま  
 だまだ足りないと考えている方が多いようです。



夫に内緒の資産の目標金額

年代	20代 <n=31>	30代 <n=40>	40代 <n=37>	50代 <n=40>	平均(万円)	
20代 <n=31>	16.1	16.1	32.3	16.1	-	19.4
30代 <n=40>	10.0	27.5	10.0	25.0	5.0	22.5
40代 <n=37>	10.8	2.7	16.2	27.0	2.7	40.5
50代 <n=40>	2.5	15.0	-	30.0	-	52.5

[参考資料]

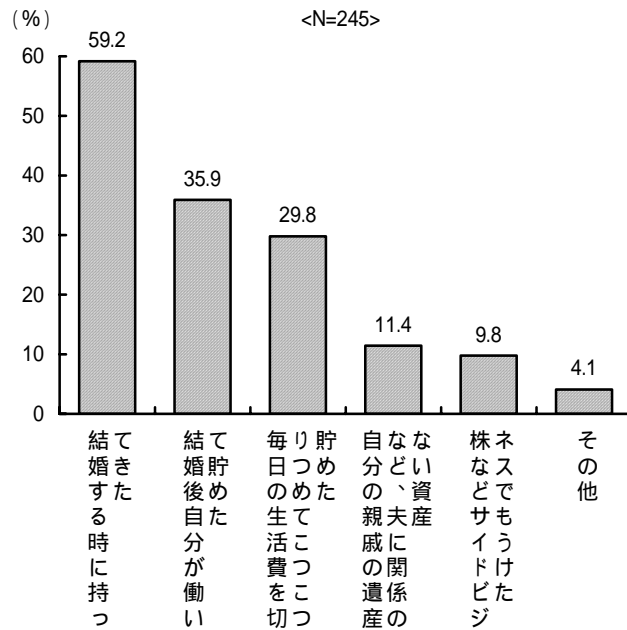
夫に内緒で資産を得た方法

「結婚する時に持ってきた」(59.2%)最も多く、次いで「結婚後自分が働いて貯めた」(35.9%)が多いが、「毎日の生活費を切りつめてこつこつ貯めた」(29.8%)も少なくない。

夫に内緒の資産はどのようにして手に入れたものかについて聞いてみました。

「結婚する時に持ってきた」(59.2%)が最も多く、次いで「結婚後自分が働いて貯めた」(35.9%)の順となっています。一方、「毎日の生活費を切りつめてこつこつ貯めた」(29.8%)などのやりくり派も目立ちます。

また、30-40代を中心に「株などサイドビジネスでもうけた」(9.8%)と答えた人の増加が目立っており、運用をして資産を増やす主婦も出てきているようです。



年代	20代 <n=57>	30代 <n=66>	40代 <n=59>	50代 <n=63>
結婚する時に持ってきた	80.7	69.7	55.9	31.7
結婚後自分が働いて貯めた	17.5	42.4	40.7	41.3
毎日の生活費を切りつめてこつこつ貯めた	36.8	22.7	25.4	34.9
自分や親戚の遺産	1.8	10.6	11.9	20.6
株などでもうけた	3.5	12.1	13.6	9.5
その他	3.5	3.0	5.1	4.8

## 厚生年金分割制度

「詳しく知っている」(6.8%)はまだ少ないものの、「おおよそのことは知っている」(62.8%)を合わせ その制度の“内容を知っている”主婦が約7割(69.6%)

平成 19 年 4 月 1 日以後に離婚をした際に適用される「厚生年金分割制度」について、どの程度知っているかを聞きました。

「詳しく知っている」(6.8%)はまだ少ないものの、「おおよそのことは知っている」(62.8%)は 6 割を超えており、この 2 つを合わせた“内容を知っている”が 7 割(69.6%)となっています。

さらに「聞いたことはある」(25.6%)を加えると、厚生年金分割制度の“認知者”は 95.2%にのびります。

厚生年金分割制度の認知

		詳しく知っている	おおよそのことは知っている	聞いたことはあるが内容はよく知らない	初めて聞いた
年代	全 体 <N=500>	6.8	62.8	25.6	4.8
	20 代 <n=125>	7.2	57.6	25.6	9.6
	30 代 <n=125>	3.2	60.0	30.4	6.4
	40 代 <n=125>	9.6	61.6	27.2	1.6
	50 代 <n=125>	7.2	72.0	19.2	1.6